

とおちっ子

十市小学校だより第29号

令和6年12月5日

文責 藤川 尚司

12月になりました。ほんのしばらく前までは暑さを覚える日もありましたが、秋は足早に過ぎてしまったようです。あっという間に冬が訪れたように感じます。この数週間で、子どもたちの装いもずいぶん変化しました。朝のあいさつも「寒いねえ」が決まり文句になってきました。

ところで、寒くなると気になる子どもたちの姿があります。それは、ポケットに手を突っ込んで歩く姿です。手が冷たくなるので、気持ちはわからなくもないのですが、手をポケットに入れたまま転んでしまうと、きまってけがをします。一番心配なのは、頭部から転倒してしまうことです。「転ぶと地球と『ごっつんこ』しちゃうよ」と声をかけ、注意を促していますが、寒ければどうしても手がポケットインしてしまいそうです。子どもの安全と事故防止のために、手袋の利用をお勧めします。



8030事業

11月27日(水)の集会で、地域花いっぱい8030事業の花の贈呈式を行いました。



8030事業では、地域の方にプランター等に植えた花を配ります。そして、子どもたちの登下校の時刻にあたる朝の8時と夕方の3時に、地域の皆さんが花のお世話がてら外へ出てもらうことを期待しています。そこには、登下校時に子どもたちとあいさつを交わして交流を深めたり、子どもたちの登下校の見守りにつながったりすれば、という願いが込められています。

南国ライオンズクラブと高知鏡川ライオンズクラブの方から、栽培委員会の代表がパンジーの苗を受け取り、まずは民生委員さんにあらかじめパンジーの植えられたプランターを手渡しました。残った花の苗は、プランターに植え付けてあらためて各所に配ります。

11月28日(木)

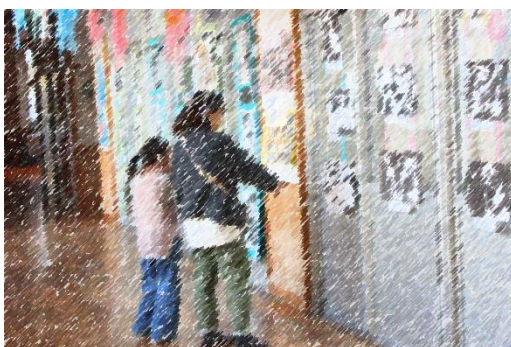
に栽培委員さんは、さっそくパンジーの苗を植えてくれました。寒い中でしたが腕まくりをして、せっせとプランターに花を植えてくれました。作業の途中では、底に穴が開いて、水が漏れるじょうろに大笑い。楽しく作業を進めたい来ました。色とりどりのパンジーが植えられたプランターは、とてもかわいく仕上がりました。きっと、地域の皆さんや通りがかった方々の目を楽しませてくれることでしょう。



校内展示

前週は四国造形研大会に向けた展示に、たくさんの保護者の方にご来校いただき、作品をご覧いただきありがとうございました。作品をご覧になっていかがだったでしょうか。楽しくご覧いただけたでしょうか。

当日の掲示、展示のすべてをご紹介することはできませんでしたが、子どもたちが思い思いに表現した作品の数々をお目にかけることができ、とてもうれしく思いました。



ところで、校内展示を継続していた期間中に、外部からの不意の来客や訪問者をお迎えする機会が何度かありました。いずれの機会でも、展示物をご覧になった皆さんは、「ほおー」「いや、すごい」など、感嘆の声を漏らされていました。そして、作品を見比べて、それぞれに異なった子どもらしい表現を興味深そうに眺めておられました。きっと、十市小学校の子どもたちが生き生きと図工科の学習に取り組む姿を想起していただけたのではないかと思います。